

令和4年度 信州 ESD/SDGs 成果発表&交流会 実践記録

1. 学校名 対象 (学年、人数) 長野市立東条小学校 6学年 26名

2. 探求課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1)活動名 「東条のホタルと環境を守っていこう」

(2)目 標 ホタル活動を通して地域の歴史にふれ、郷土を知り、東条(松代)の環境を守り続ける態度を養う。

(3)ESDの視点、育成する資質・能力

①構成概念

- 多様性(多種多様な現象が起きていること) 公平性(一人ひとりを大切に)
相互性(関わりあっている) 連携性(互いに連携・協力すること)
有限性(限りがある) 責任制(責任を持って)

その他()

②育成する資質・能力

- 批判的に考える力 他者と協力する力
未来像を予測して計画を立てる力 つながりを尊重する態度
多面的・総合的に考える力 進んで参加する態度
コミュニケーションを行う力

(4)関連するSDGs

11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを守ろう

(5)探求課題・活動実践の概要

①東条のホタルをたくさんの人に知ってもらおう。～東条のホタルをPRしよう～

②ホタル観察会を成功させよう。

③ホタルが生息できる環境を守ろう。

・河川清掃・ホタル水路環境整備・ビオトープ造り

④6年生が卒業後、ホタル水路を後輩たちに引き継いでもらうためにはどうしたらよいか?

⑤ホタル引き継ぎ資料を作成して、後輩たちにホタルを託そう。

3. 流れ(指導計画の概略)

4月 これまでのホタル活動を振り返り、今年度の活動の見通しを立てる。

5月 「ホタルPR大作戦」グループに分かれて東条のホタルのPR活動

①訪問 ②放送 ③Zoom ④動画 ⑤ポスター ⑥チラシ ⑦ホームページ ⑧SNS ⑨手紙

6月 松代荘(温泉)、東条保育園、現金屋(地元スーパー)訪問、ポスター掲示、チラシ配布
Zoomによるホタル観察会直前生情報発信。ホタル観察会実施

7月 ホタル観察会を振り返って。東条地区のホタルマップ作成。河川清掃(環境保全)

8・9月 ホタル活動の引き継ぎに向けた活動

10・11月 ビオトープ改修作業、ホタル水路整備作業、ザリガニ駆除

12月 「THE 東条を語る会」にて地域の方から東条地区のホタル保全、保護活動の歴史を学ぶ。
「松代真田サミット」に参加し、松代学区の小中学校にホタル活動の学習成果を発表。

12～3月 ホタルの幼虫飼育。カワニナ採取。

2月 ホタル資料作り。ホタル引き継ぎ準備。

3月 ホタル放流会:ビオトープで飼育した蛍の幼虫をホタル水路へ放流。

4. 効果・反応・所感

東条小学校の最終学年としてホタル観察会に向けて「知らせたい・来てもらいたい」といった発信の願い、「水路やビオトープなどを整備したい」といった保護の願い、ホタルの活動自体を残していきたいといった「引き継ぎ」に向けての願いなどが出され、ホタル観察会の成功と、ホタルが飛び交う環境を守っていくために自分たちにできることを考え、行動に移して実践することができた。「6年生が卒業後も後輩たちにホタル活動を引き継いでもらいたい」「私たちが大人になってからも自分の子どもにホタル見せてあげたい」「ホタルが舞う東条の環境をずっと守っていきたい」等の感想がまとめられた。

5. 指導方法・体制の工夫(協力者や資源)

①「THE 東条を語る会」講師、小林昭人さん(元長野市教育委員会学校教育課勤務)より東条地区のホタル保全、保護活動の歴史を学ぶ。

②東御市立滋野小学校とのホタル活動の交流(情報交換、ホタル水路見学)